

・・・基本方針・・・
市民の意欲を引き出す多彩なまなびの場づくり、
まなびを地域に活かす人づくりの推進

< 重点施策 >

1 市民の自主的な学習活動の支援

- ①人材バンク「まちの先生」や、生涯学習ガイドブックを通じたまなびの情報提供
- ②課題解決に向けた図書館資料及びサービスの充実と利便性の向上
- ③博物館の資料収集と情報発信

2 多彩なまなびの提供と人材育成

- ①多様化する市民のまなびのニーズやステージに応じ、高等教育機関や企業などと協働した、既存の生涯学習や社会教育の枠にとらわれない各種講座の充実
- ②学んだ成果を地域に還元できる人材の育成

3 世代を超えた交流と、市民協働による地域力を生かしたコミュニティ活動の推進

- ①コミュニティ活動推進組織の活性化の支援
- ②地域コミュニティ活動の推進
- ③地域における交流・活動拠点施設の整備

4 家庭や地域の青少年育成機能の強化と、青少年が自ら主体的に行動できる力の育成

交流・体験学習活動や地域における青少年育成活動の推進及び人材育成の充実

5 文化・芸術を市民の身近なものにするための文化振興と、文化財保護の推進

- ①市民の主体的・創造的な文化活動への支援
- ②文化財の保護・活用と民俗芸能の伝承
- ③埋蔵文化財発掘資料の整理と活用
- ④様々な芸術文化に触れる機会の提供など魅力ある美術館活動の推進
- ⑤歴史資料の保存と活用・普及活動の推進
- ⑥馬高・三十稲場遺跡、八幡林官衙遺跡、荒屋遺跡の整備と活用

6 市民が自らスポーツを楽しみ、健康で生きがいを感じるまちづくりの推進

- ①学校体育と地域スポーツ活動の連携
- ②興味・関心に応じたスポーツ参加機会の充実
- ③ジュニア選手の育成・強化と継続したトップ選手の育成・強化の推進
- ④コミュニティスポーツ推進組織の活動支援
- ⑤大規模大会の開催やプロスポーツの観戦機会の拡大、スポーツを通じた国際交流

7 人権・同和問題の市民意識啓発

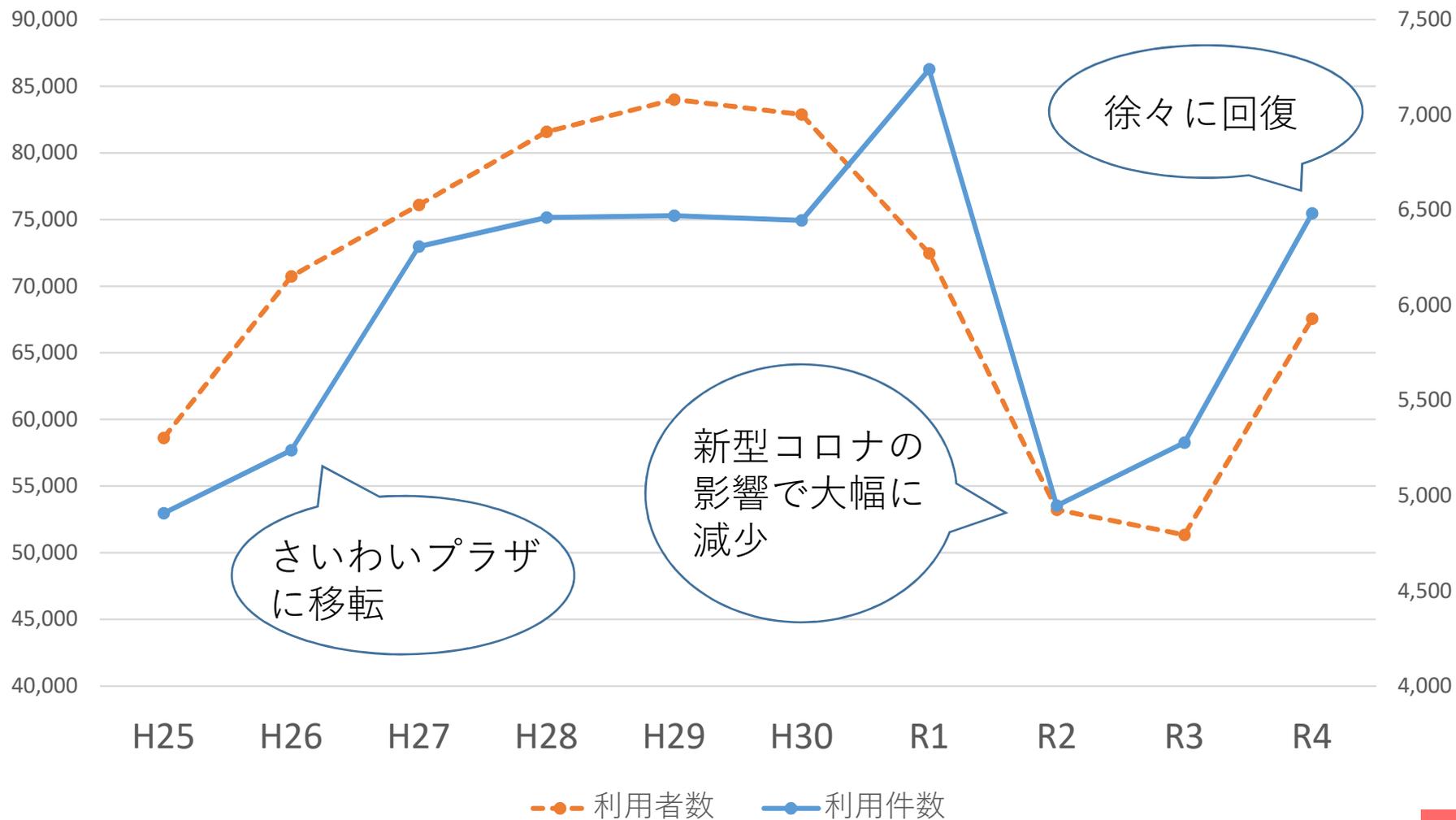
人権の尊重や同和問題など啓発活動の推進（社会同和教育研修会など学習機会の提供等）

長岡市の公民館の現状と、 人材の育成について

令和5年6月16日
長岡市中央公民館

長岡市公民館の現状

中央公民館 利用状況の推移



長岡市公民館の現状

中央公民館事業

- 貸館
- 社会同和教育
- （仮）公民館生き生き作品展
- 地域学びコーディネーター講座

☆今回の深掘り☆



生涯学習担当事業

- 「まちの先生」「生涯学習ガイドブック」
- 市政出前講座
- 旧寺泊線鉄道敷環境美化整備事業

地域が抱える課題

防災

住民関係の
希薄化

少子高齢化

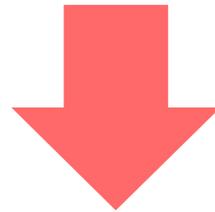
担い手不足

人口減少

etc.

求められる人材

行政だけでは解決できない地域課題に直面



地域（コミセン）からは…

地域課題対応力、実践力ある人材がほしい！！

（喫緊の地域課題対応）

地域学びコーディネーターの役割

- 行政だけでは解決できない地域の課題に対し、住民に学習機会を提供することを通して、課題解決に取り組む
- それぞれの地域の事情に合わせ、地域の特徴、人材を活かしながら住民を巻き込んで活動

<例>

高齢者の単身世帯が多い地域では、買い物支援の必要性、事例を紹介する講座を開催し、地域の買い物支援制度を作る

講座カリキュラム

地域課題対応、実践力の獲得を重視した内容で構成

＜行政＞

地域課題に関する
情報提供

＜教養＞

地域づくり、社会課題

＜実務＞

受講者による講座
の企画・運営

＜事例＞

コミュニティセンター
事業、各地域の課題

15講座 × 2年間 = 30講座

行政（第2期）



コミュニティとコミュニティセンター
について



魅力ある地域づくりについて



長岡市の男女共同参画推進の取組み



地域における健康づくり

教養（第2期）



初心者向けZoomの使い方講座



子どもの育成を核においた地域づくり



ボランティア活動を通じた地域共生



こころの健康とゲートキーパーとしての役割

実務（第2期）



ファシリテーション手法



講座・チラシの作り方



リーダー論



受講者企画講座の企画会議

実務（第2期）



受講者企画講座
「自然災害から身を守る」



受講者企画講座「笑いヨガ体験」



受講者企画講座
「ステップアップ！LINE講座」



受講者企画講座
「廃材再生師 加治聖哉アート講座」

事例（第2期）



大島コミュニティセンター視察



自分の地域のコミュニティセンター紹介



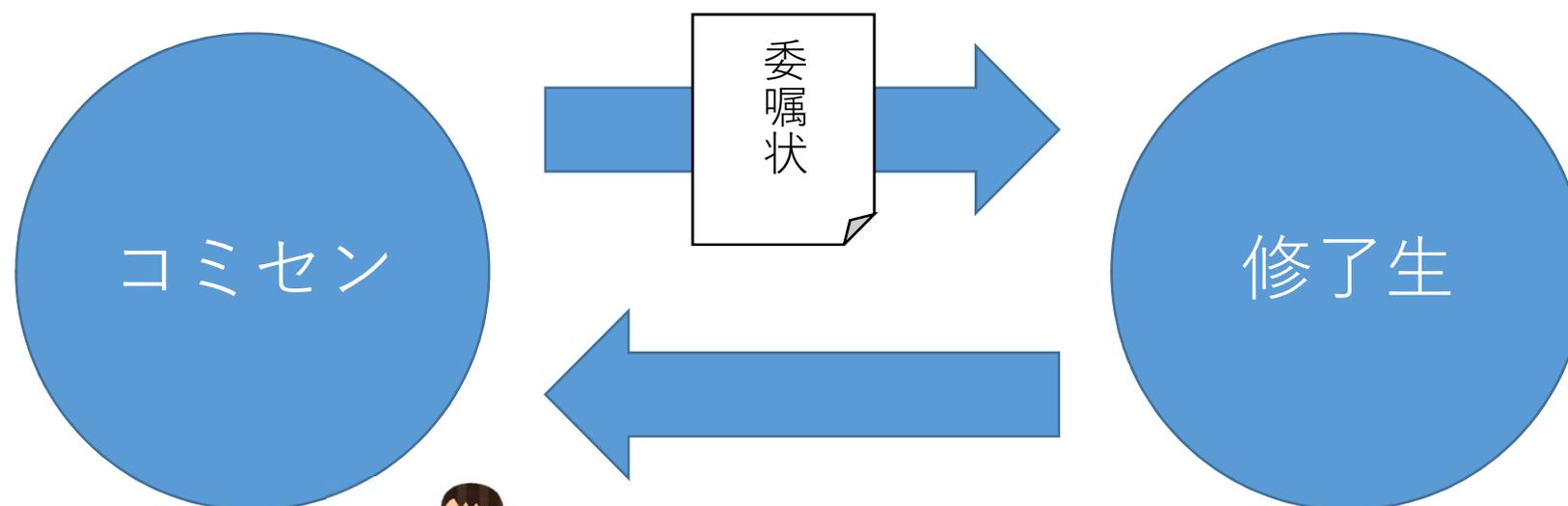
子ども食堂の取組と現状について



蔵王の杜プレーパーク活動見学

講座修了後の活動例

委嘱状の交付



生涯学習部会など
に参加

講座修了後の活動例

山通コミュニティセンター

- ・ 部会活動とは別に、修了生の組織がある
- ・ 月1回、定例会を行い講座の企画を行う
- ・ 講座内容はスポーツ、映写会、歴史など



修了生の声

受講生の皆さんは、地域でよりよく楽しく暮らしていくにはどうしたらいいか前向きに考える人たちばかりで、毎회가ワクワク楽しい嬉しい時間でした。

この講座で学んだこと、講師の方や仲間の方から学んだこと、気付かせてもらったことも沢山ありました。これらのことを地元に戻って次世代に継いでいけたらと思います。

当初、地域の地理・歴史を勉強する講座かと思い、ボケ防止になればなあ～と受講しました。意に反してバラエティに富んだ講座の数々に毎回興味津々で、ボケ防止の効果は抜群でした！

講座修了生

- 第1期修了生（H30～R1） 38名
- 第2期修了生（R3～R4） 31名
- 第3期受講生（R5～R6） 27名
男性：11名、女性：16名
最年少41歳、最年長72歳

【修了生の活用状況】（令和5年4月1日現在）

第1、2期修了生計69名のうち、37名が各コミセンから委嘱され、地域活動に従事している。

ご清聴ありがとうございました。



令和5年6月16日

令和5年度 社会教育委員会・自主研修実施計画（案）

1 研修テーマ（令和4・5年度）

地域資源を活用した「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の在り方

<テーマに関わるとらえ>

○地域資源

地域が固有に有している自然、人材、産業、行事、伝統文化、産物など

○人づくり

地域人材の発掘や活用

○つながりづくり

人材のつながり、各種団体や関係部署、学校などとの連携

○地域づくり

地域の活性化、地域おこしなど

2 自主研修の流れ

(1) 第1回社会教育委員会（6月16日）

- ・自主研修実施計画の検討

(2) 現地視察研修（9月頃）

- ・各委員にレポート用紙を配布（感想・疑問・学んだことなど）

(3) 各委員レポート提出（10月中）

(4) 第2回社会教育委員会（11月を予定）

- ・レポートをもとにグループ討議
-
- ・訪問で学んだこと、明らかになったことや疑問や感想等の集約

(5) 第3回社会教育委員会（2月の予定）

- ・2年間の研修のまとめと今後の研修の方向性を検討

3 現地視察研修について

(1) ねらい

地域資源に富んでいると推察される地域を訪問し、地域資源の活かし方や、人づくり・つながりづくり・地域づくりの実践を学ぶ。

(2) 視察地域

- ① 栃尾地域 トチオーレ（栃尾地域交流拠点施設）＝とちおコミセン
-
- 農村レストランすがばたけ
-
- ② 山本地域 山本コミセン＝山本地区活性化プロジェクト

③ 訪問先と内容

ア 栃尾地域

○トチオーレ

- ・施設見学
- ・とちおコミセンの取組について
- ・地域おこし協力隊：加治さんのお話（廃材再生など）

○農村レストランすがばたけ（昼食）

- ・地域食材活用など ※お店の思いや願いが聞けるか

イ 山本地域

○山本コミセン

- ・山本地区活性化プロジェクト

東山油田・石動神社など「やまもと探訪ナビ」（パンフレット）

④ 視察の視点

ア どのような願いが込められているか

イ どのような地域資源を生かそうとしたか

ウ 人材や組織とどのように連携したか

エ 地域においてどのように人づくりを進めたか

オ 人づくり・つながりづくり・地域づくりにおいて成果は何か

カ 今後の課題は何か

(3) その他

① テーマに関わる講話を聞くことやテーマに関わる現地視察ができるように訪問先と研修内容について十分に連絡調整を行う。

② 視察実施時期は9月頃で調整する。

③ 市マイクロバスを利用する。

④ 委員個々の都合に合わせて参加できるようにする。

例 自家用車で「午前のみ」または「午後のみ」参加など

⑤ 昼食を現地で取る。